

自主自立のまちづくりの推進について

熊本市

平成30年9月10日

1.人口等の推移予測

2.事例の紹介（熊本市）

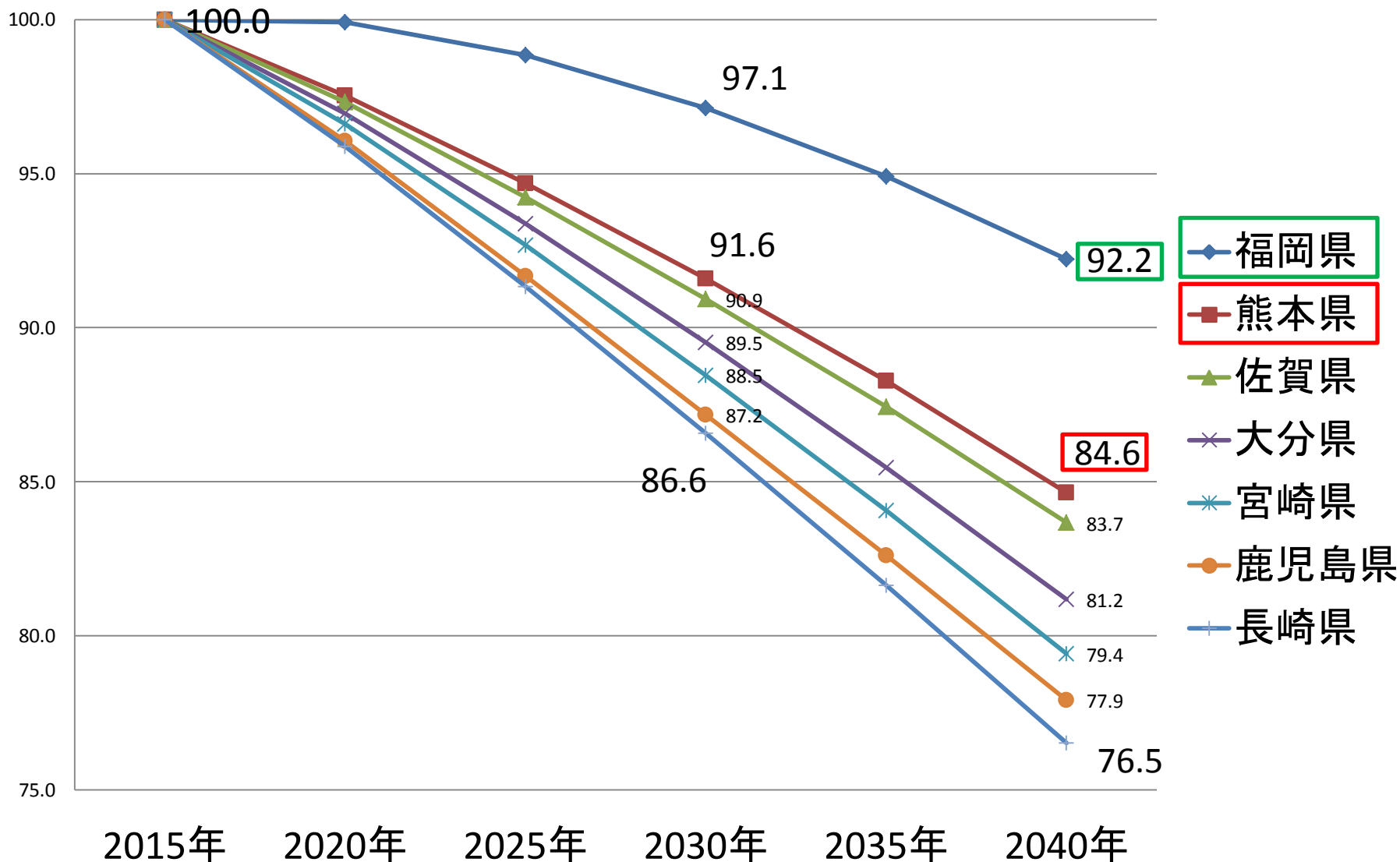
3.事例の紹介（他都市）

4.意見交換

人口等の推移予測

単位：％

九州各県の総人口指数の推移(2015年＝100%)



- ・ 2015-2040比較で熊本県は▲15%
- ・ 福岡県が最も減少幅が小さく▲8%

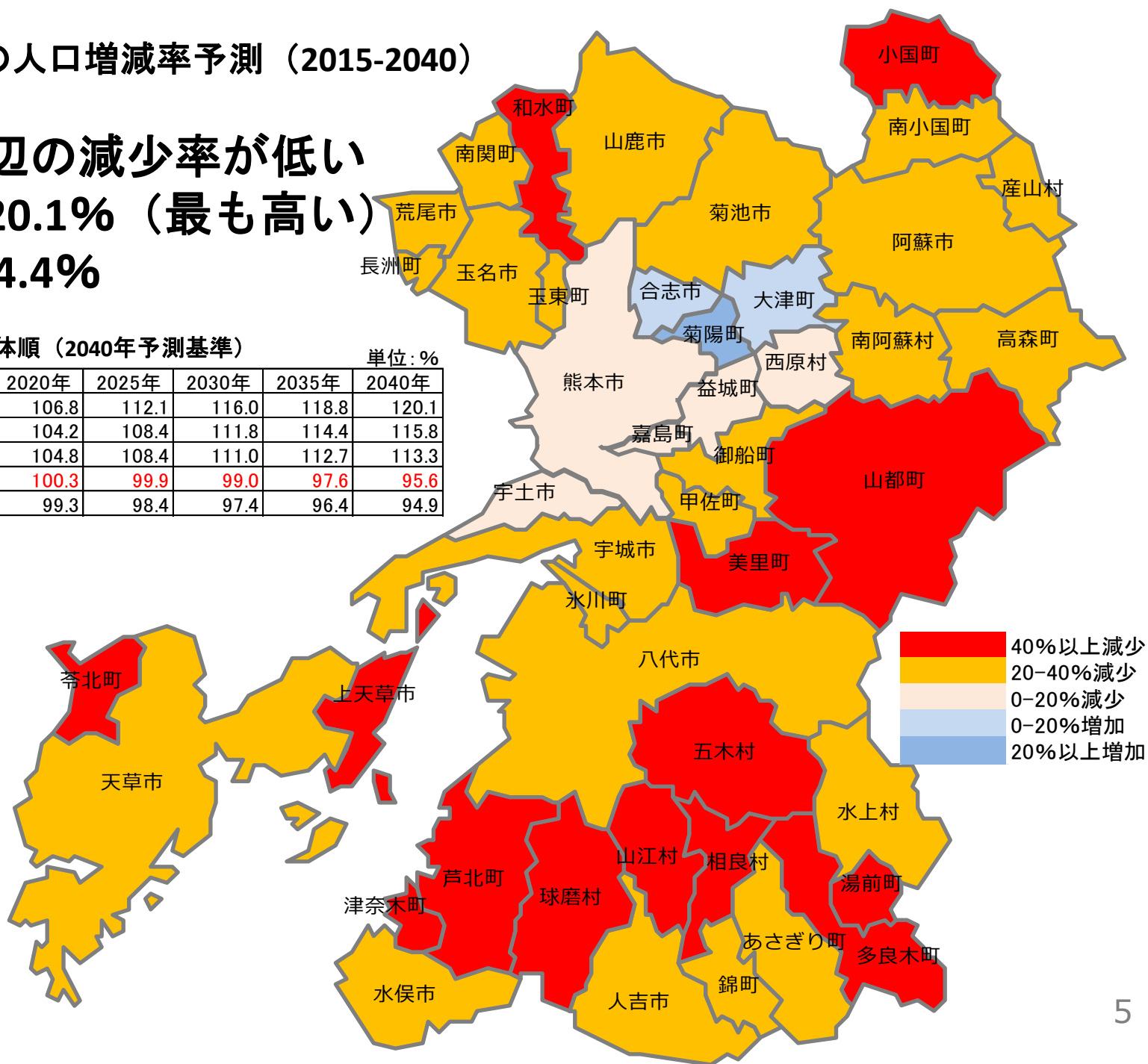
県内市町村の人口増減率予測（2015-2040）

- ・ 熊本市周辺の減少率が低い
- ・ 菊陽町＋20.1%（最も高い）
- ・ 熊本市 ▲4.4%

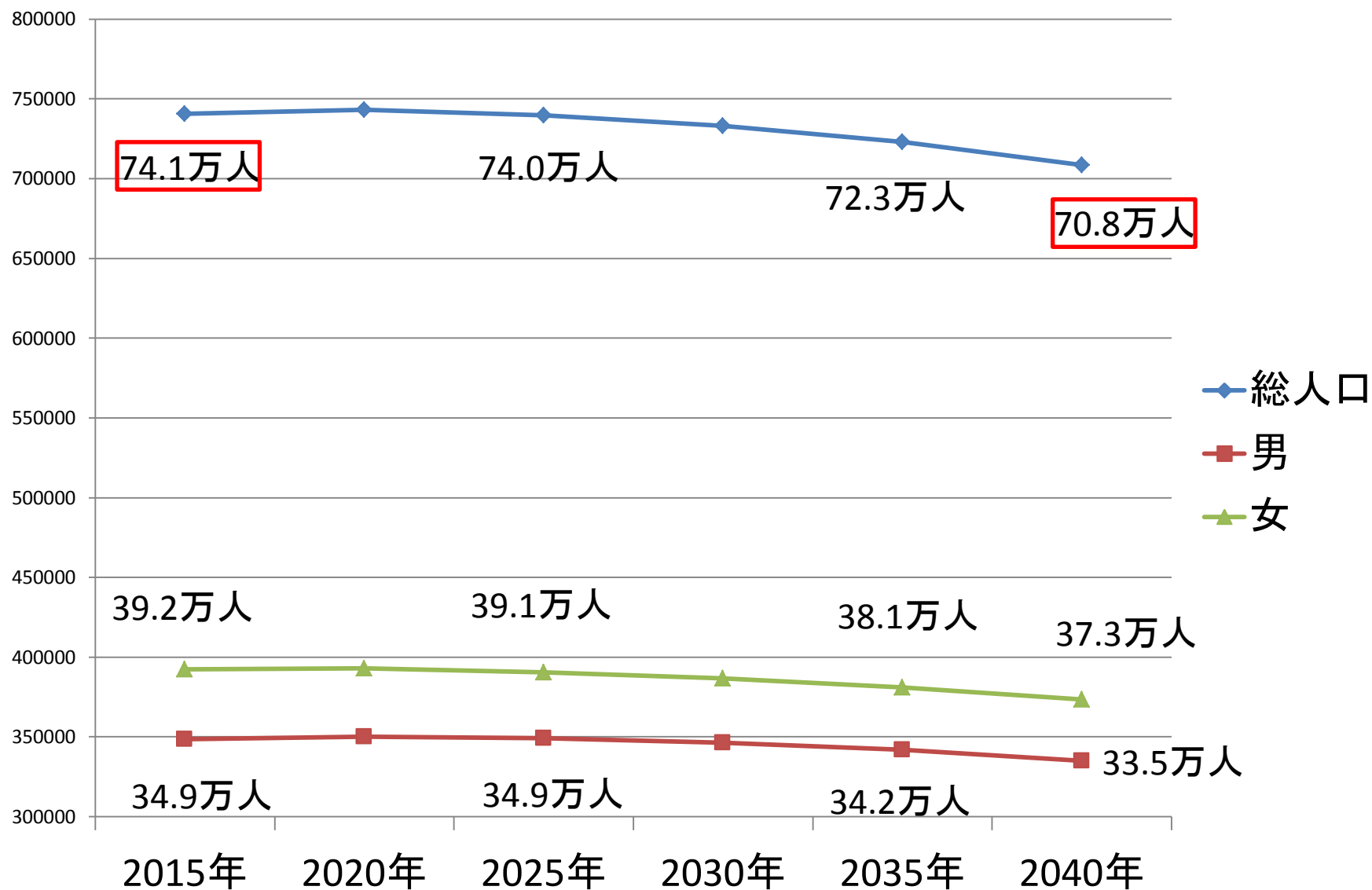
人口増減率が高い自治体順（2040年予測基準）

単位：%

番号	市町村	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
1	菊陽町	100.0	106.8	112.1	116.0	118.8	120.1
2	大津町	100.0	104.2	108.4	111.8	114.4	115.8
3	合志市	100.0	104.8	108.4	111.0	112.7	113.3
4	熊本市	100.0	100.3	99.9	99.0	97.6	95.6
5	嘉島町	100.0	99.3	98.4	97.4	96.4	94.9



熊本市の人口の推移

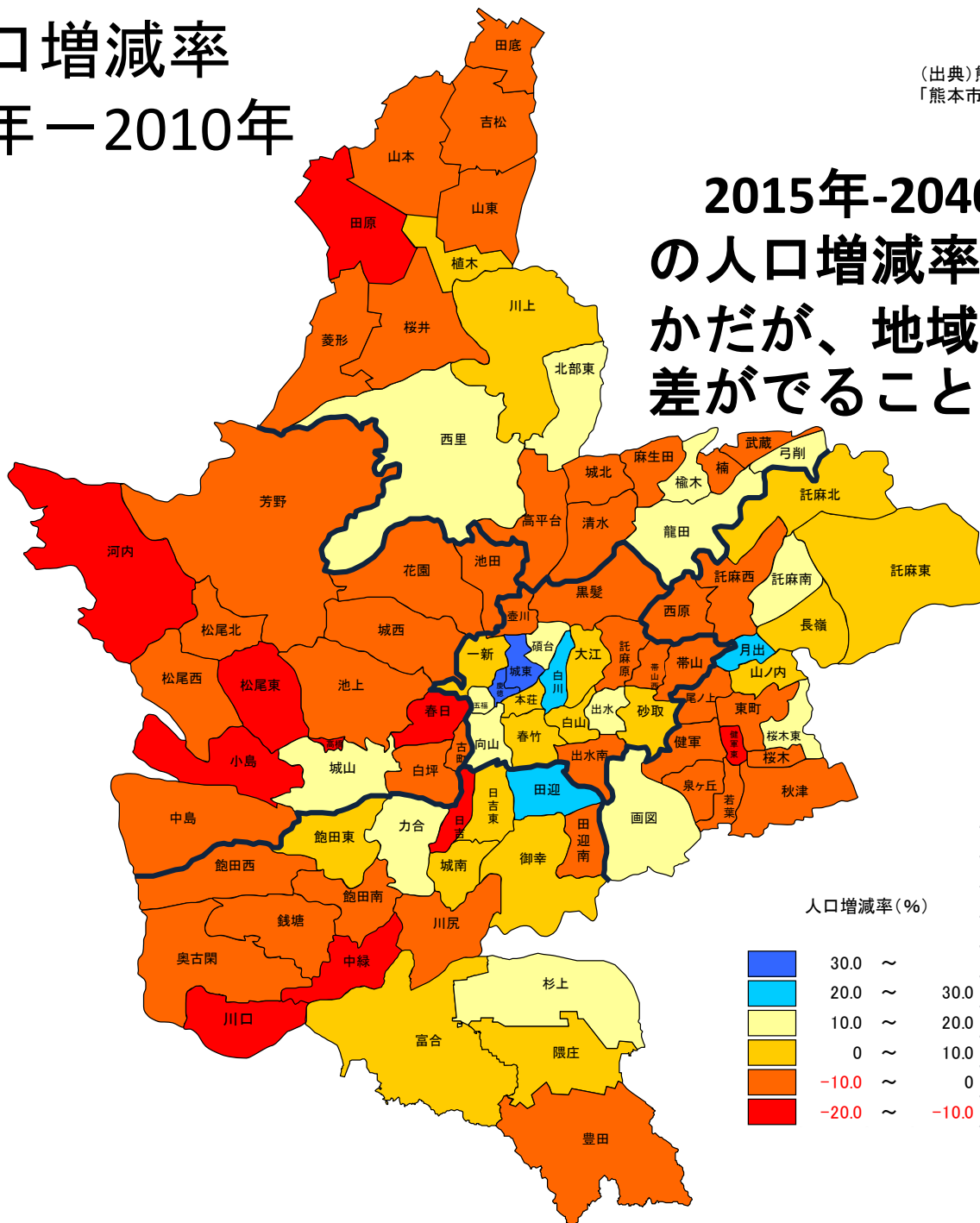


・ 2015-2040比較で総人口は▲3.3万人

2000年－2010年

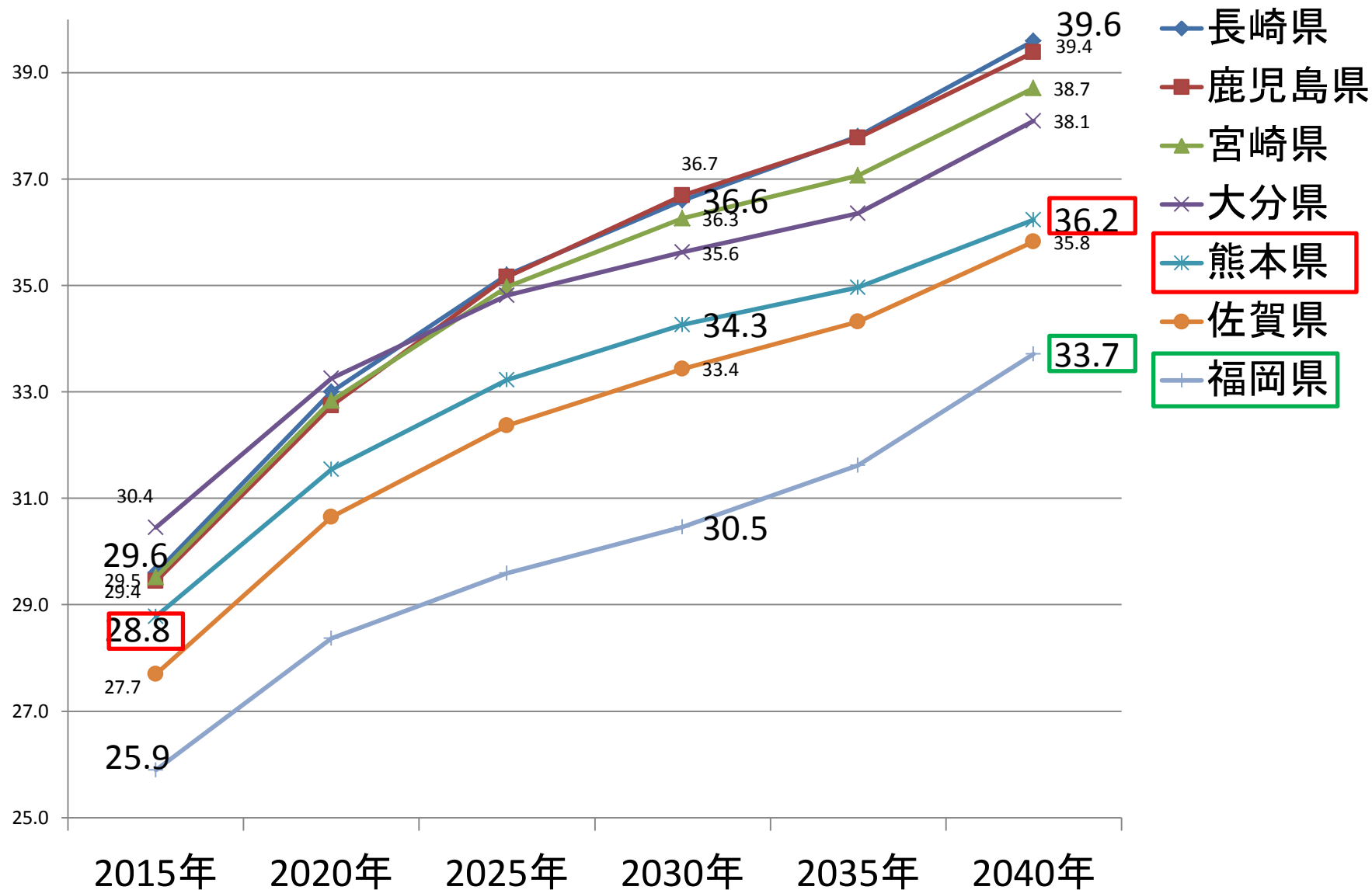
(出典)熊本市「熊本市の人口 平成22年国勢調査結果報告」、
「熊本市の人口 平成12年国勢調査結果報告」より作成。

2015年-2040年の熊本市全体の人口増減率予測は▲4.4%と僅かだが、地域別に見ると大きく差がでることが予想。



九州各県の老年人口割合の推移

単位：％



- 2015-2040比較で熊本県は＋7.4%
- 2040年予測では、福岡県が最も低く33.7%

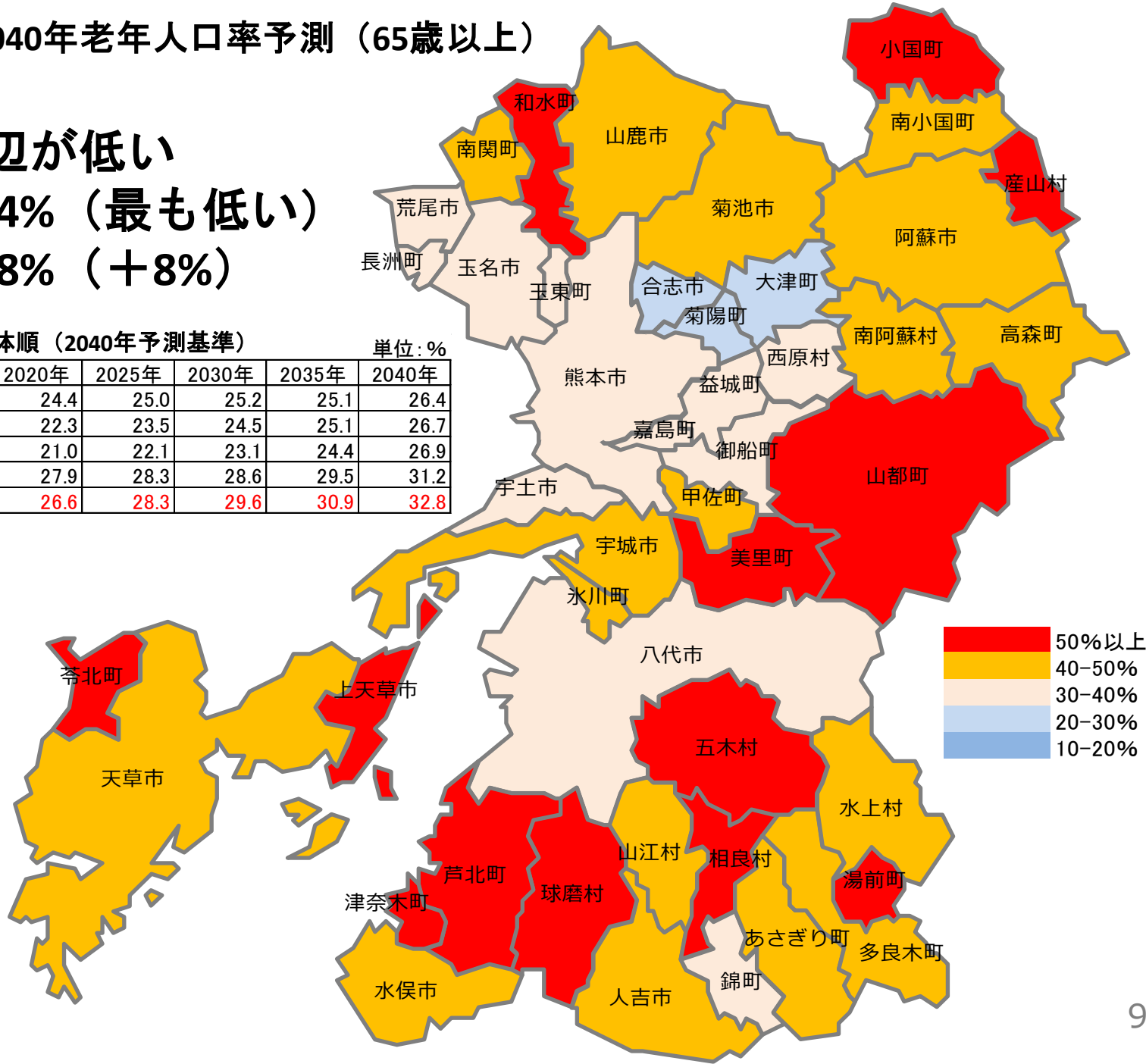
県内自治体の2040年老年人口率予測（65歳以上）

- 熊本市周辺が低い
- 合志市26.4%（最も低い）
- 熊本市32.8%（＋8%）

老年人口率が低い自治体順（2040年予測基準）

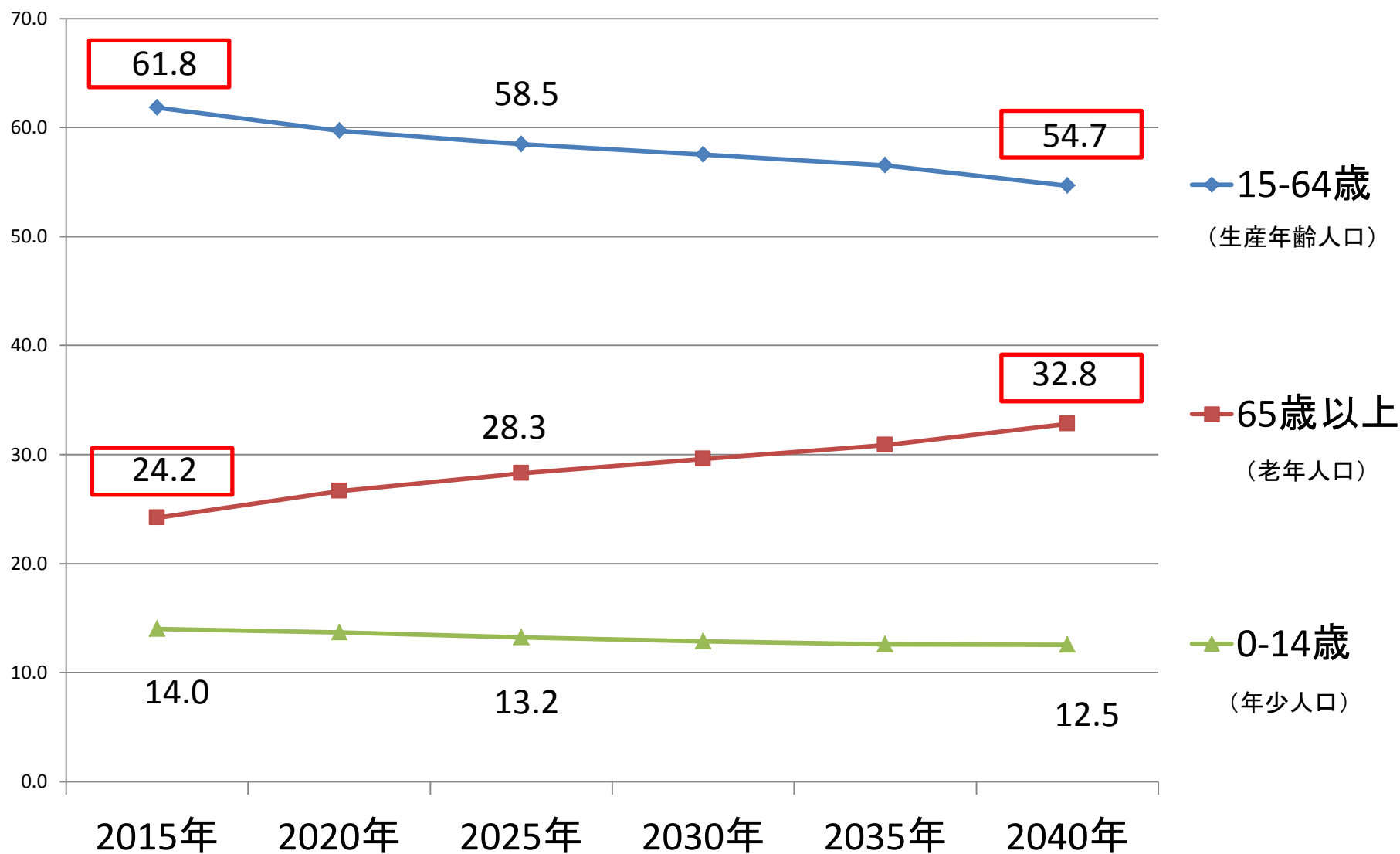
単位：%

番号	市町村	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
1	合志市	22.6	24.4	25.0	25.2	25.1	26.4
2	大津町	20.7	22.3	23.5	24.5	25.1	26.7
3	菊陽町	19.0	21.0	22.1	23.1	24.4	26.9
4	嘉島町	26.5	27.9	28.3	28.6	29.5	31.2
5	熊本市	24.2	26.6	28.3	29.6	30.9	32.8



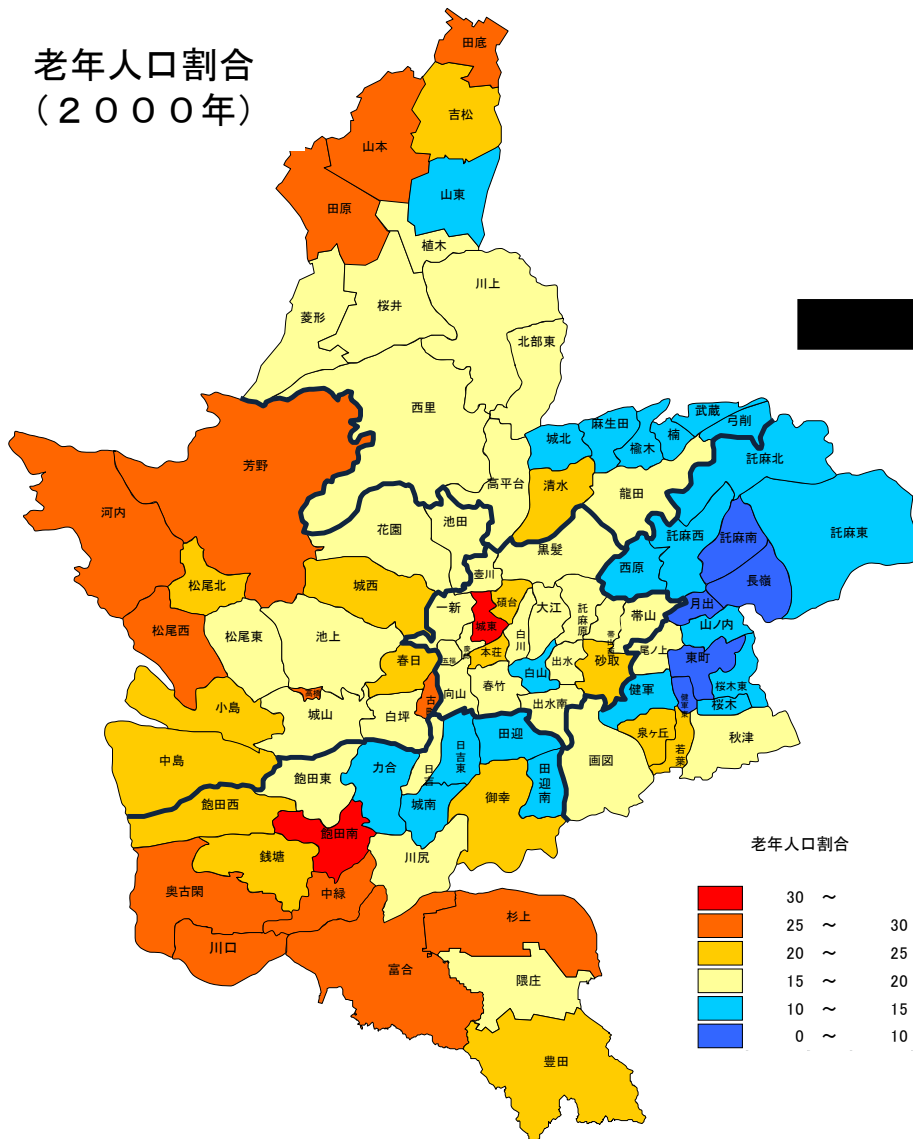
単位：％

熊本市の年齢3区分別の人口割合の推移



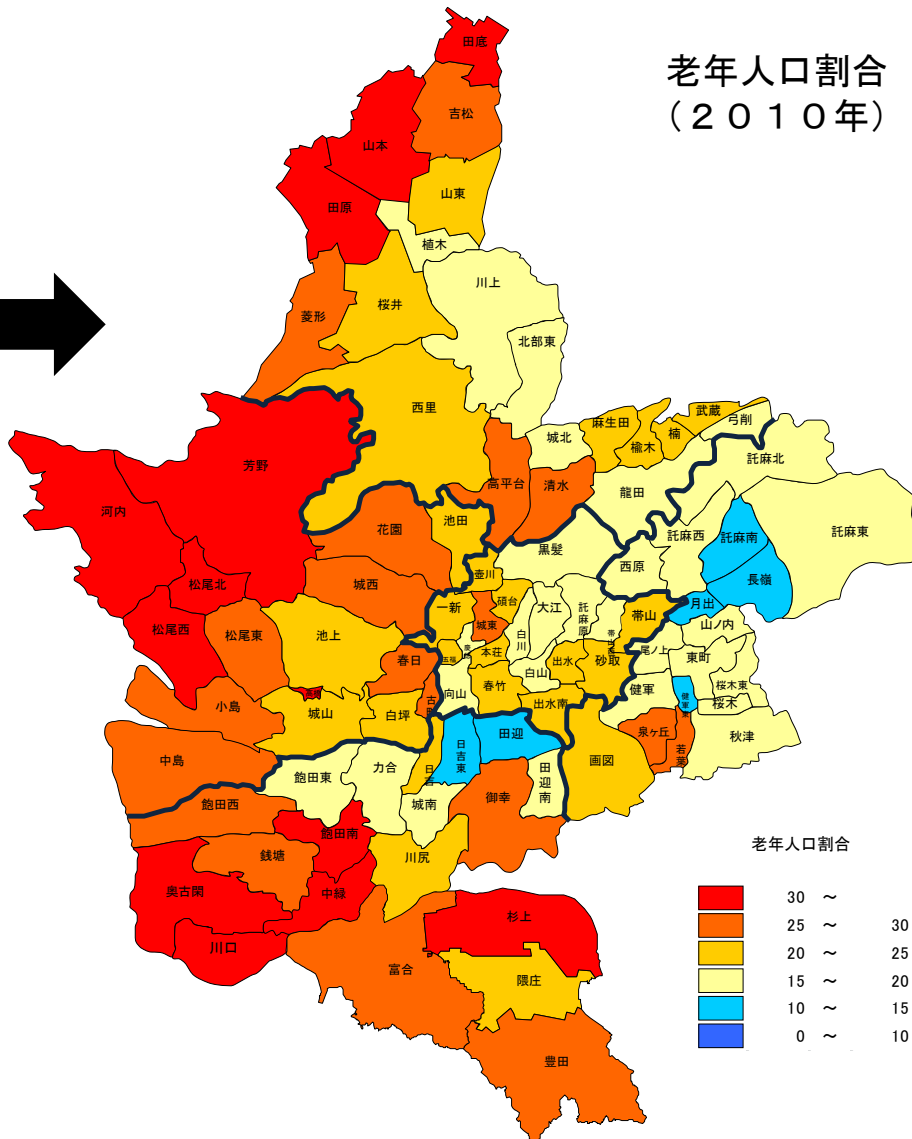
- ・ 2015-2040比較で生産年齢人口は▲7%
- ・ 2015-2040比較で老年人口は＋8%

老年人口割合
(2000年)



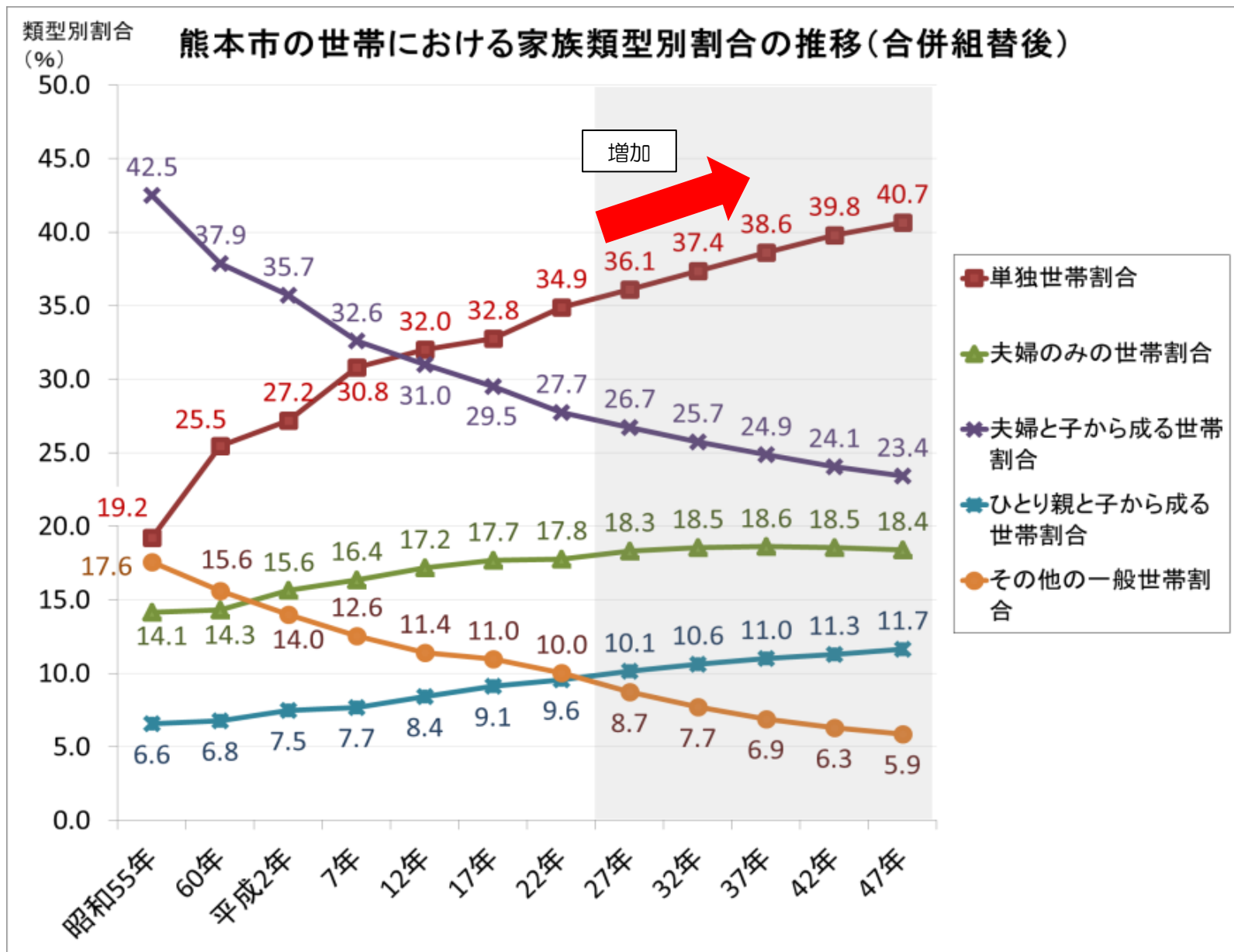
(出典)総務省統計局「国勢調査結果」、熊本市「熊本市の人口 平成12年国勢調査結果報告」より作成。
(旧富合町域、旧城南町域、旧植木町域の校区別の割合は推計値)。

老年人口割合
(2010年)



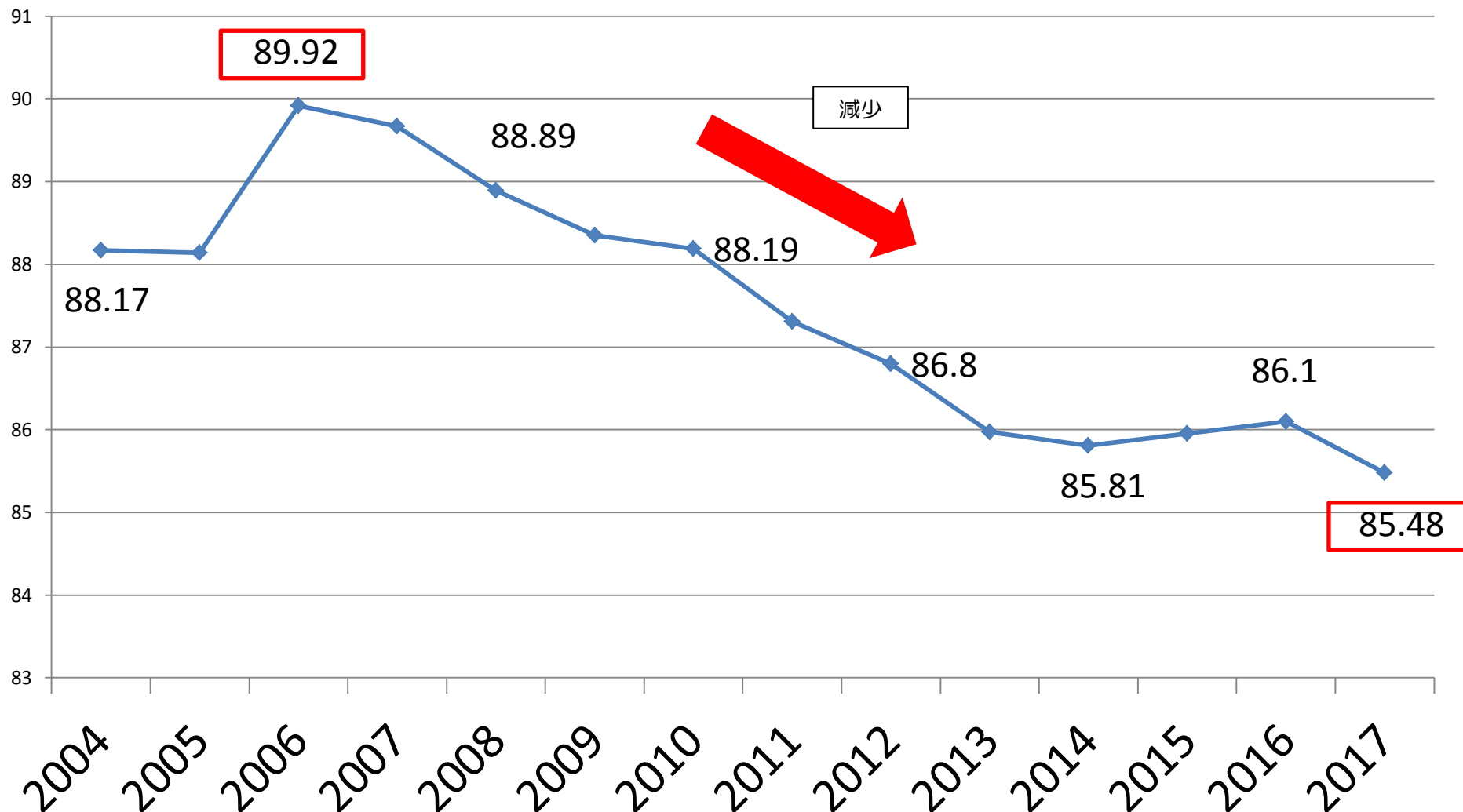
(出典)熊本市「熊本市の人口 平成22年国勢調査結果報告」より作成。

2040年の熊本市全体の老年人口率予測は32.8%だが、地域別に見ると大きく差がでることが予想。



自治会加入率

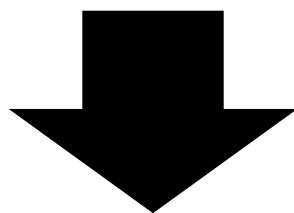
単位：％



- ・ 2006年の89.92%をピークに減少傾向
- ・ 2006-2017年比較で▲4.5%

人口等の推移予測（まとめ）

- ◆ 本市の人口増減率予測は▲4.4%（2015-2040）
- ◆ 老年人口率予測は24.2%→32.8%（2015-2040）
- ◆ それぞれの数値は、地域間での差が予想



地域コミュニティ活動の衰退
地域の繋がりの希薄化

事例の紹介（熊本市）

● 帯山 2 町内お助け隊

・ 地域が実施した高齢者への二一ズ調査を元に、必要なサービスを思案。

・ 結果、電球交換や話し相手、ゴミ出し、買い物代行などを行う「お助け隊」を開始。

・ お助け隊受付センターは、地域企業(株)キューネットの協力により開設。電話番号が記載されたマグネットを高齢者世帯に配布している。

2町内お助け隊ご利用案内



～日常生活のちょっとした困りごとありませんか？～

項目	内容	利用料
話し相手	希望日に2人で訪問します(1時間程度)	1回 400円
買い物代行	商品代金は別です	1回 200～400円
ゴミ出し	玄関から集積場までの運搬をします	1ヶ月 500円
庭掃除・草取り	事前に時間、人数等を打ち合わせ	一人1時間 500円
電球交換 他	取り外しから交換(器具代は別途料金)	1回 300円
※その他、上記以外の事でもご相談に応じます		

- 緊急性のあるものや医療関係は対応出来かねますので、ご了承ください。
- 事前に連絡、打ち合わせに伺います
- 代金は当日お支払いです
- 氏名その他の電話内容は、個人情報として扱い、お助け隊の業務以外には使用しません。

平成30年2月1日スタート!

2町内高齢者
お助け隊受付センター
☎ 387-2131

受付時間:あさ8時からよる8時まで



● 帯山 2 町内お助け隊

- ・ 現在、隊員は約30名おり、90代の隊員も。
- ・ 「困ったときはお互い様、お助けた〜い」を合言葉に、自治会が主体となり、各種団体を巻き込んだ活動に発展。
- ・ 地域の主体性に基づき、地域の特性に応じた高齢者の支援を実施している事例。



お助け隊による草刈



お助け隊

● 地域の縁がわ“だってんかつでん 寄んなっせ ～ぽたぽたの家～

・みんなが気軽に立ち寄れる場所として、自宅を「地域の縁側」として開設。 ※永坂純子さん（託麻北校区健康まちづくり推進員）



大学生が希望したじゃがいも植え体験



そうめん流し
バーベキュー



健康体操



クリスマス会



寺子屋開催（県立大学学生による支援）



カラオケ

● 地域の縁がわ“だってんかつでん 寄んなっせ ～ぽたぽたの家～

・永坂さんが自身の夢を語ったことをきっかけに、次々と人との繋がりが生まれたことで、結果として「地域の縁がわ」が実現。 ※熊本県の「地域の縁側事業を活用」

実行委員会：協力体制の確保、企画実施

社会福祉協議会、自治協議会、老人会連合会、
町内老人会、町内自治会、民生委員児童委員協議会、
地域住民代表（農業指導者）、ささえりあ託麻、
熊本県立大学、託麻まちづくりセンター

体制と役割分担

永坂さん：場所の提供、地域への回覧

県立大：チラシの作成、企画・運営協力

ささえりあ託麻：実行委員会立上げ支援、

事務局機能（チラシの作成、事業PR等）



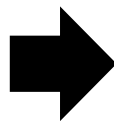
実行委員会の様子

● 富合校区ごみ屋敷問題の解決

- ・ 長年の懸案であった「ごみ屋敷」問題を当該町内会が中心となって解決した問題。
- ・ 消防団、ボランティア、ささえりあ、地元建設会社、行政（まちづくりセンター、廃棄物計画課等）など、総勢150名の有志により清掃作業を実施。



作業前



作業後

● 富合校区ごみ屋敷問題の解決

- ・自治会長の交代時期にも関わらず、新旧自治会長の精力的な活動により、多数の住民ボランティアの確保や地元建設会社からの重機貸し出しに繋がる。
- ・長年の懸案だった課題を住民が中心となっており、地元企業やボランティア、行政などと一体となって対応した事例。



作業日当日



地元建設会社から貸し出し
を受けた重機での作業

● 武蔵校区の防災に関する取り組み

- ・ 民生委員の発案をきっかけに、住民による震災記録誌の作成。その他、大規模な防災訓練を実施。
- ・ 震災記録誌は、自治会やPTAなどの役員が編集委員となり、子ども、大学生、お年寄りなどの幅広い住民への取材を基に作成。
- ・ 全59ページ。2,700部を発行し、同校区全世帯へ配布。費用の半分を区の補助金を活用し、残りをすべて地域の自主財源で賄っている。



● 武蔵校区の防災に関する取り組み

- ・ 昨年11月、校区住民約400名参加の避難訓練を開催。
- ・ 第一避難所（各町内公園等）に集合し、その後、第二避難所（武蔵小・中学校）へ移動。体育館内を町内ごとにエリアを区切った避難所運営や、消防団員が支援物資を運ぶ本番さながらの訓練。
- ・ 今年10月は学校と連携し、授業開催中の防災訓練を企画。



小中学校への移動中の様子



炊き出し



物資の搬送

● 「地域主導型の福祉」 池田校区の 「ふれあいランチ事業」

- ・ 池田校区地域福祉委員会により、1人暮らしの高齢者など手作り弁当を宅配する事業（月2回）

- ・ 平成3年に第1回の配布が始まり、今年で27年目。



- ・ 1食400円の受益者負担があるにも関わらず、毎回約200食を宅配。地域の見守りや安否確認や健康管理に貢献。

「地域主導型の福祉」 池田校区の 「ふれあいランチ事業」



・ 設立当初より「できる人が できるところで できることを無理なくやろう」をモットーとして、これまでにのべ400名を越える無償ボランティアに支えられている活動。

● TEAM城南ワンダホー

- ・昨年11月、「城南」を内外にアピールするため様々な業種の地域住民約20名で組織。

- ・「地域の魅力向上→移住者増加→地域の魅力向上」の好循環を作り出す手法を検討。

(メンバー)

若手事業家、若手農業生産者、伝統文化の後継者、民話語り部、教師、アスリート、ボランティア団体、福祉相談員、子育て世代 等



TEAM城南ワンダホー

・地域住民への基礎調査（昨年度）を踏まえた「城南ブランド力向上の戦略と行動計画」に基づき、取り組みを実施。



H30年度 TEAM城南ワンダホー 行動計画

H30/07/26現在の計画状況

月	①広大な塚原古墳で愛を叫ぶ [担当リーダー: 松永・本田]	②塚原古墳に一泊しよう [担当リーダー: 下田・本田]	③火の君商品開発塾 [担当リーダー: 岩村・福島]	④HP・イベント [担当リーダー: 竹田・松田]	⑤会議その他
4					☆毎月の定例会実施(第3木)
5	結婚応援団体登録 (済)	歴史民俗資料館協力依頼 (済)	研修先への協力依頼 (済)	公開FBページの作成 (済)	☆城南飲食店リストアップ (済) [担当リーダー: 本田・荒木]
6	実施要領決定 補助金申請 (済)	実施要領決定 補助金申請 (済)	1) 会員研修(山都町) 日程調整 (済) 2) 幹部研修(邑南町) 日程調整 (済)	2社にHP作成コンペ依頼 (済)	ワンダホー紹介チラシ作成 毎週の食べ歩きFBアップ開始
7	CM動画撮影	参加者募集チラシ(7月中旬) ※夏休み前に募集しておく (済)	1) 会員研修(山都町) 7/13 (済) 2) 幹部研修参加者決定 (済)	2社のHPプレゼン実施 依頼先決定 (済)	チームビブスデザイン(竹田)
8	参加者募集案内(HP・FB・動画)	参加者の決定・通知		☆HP・イベントMAPの完成 MAPの印刷・配付	★協賛金募集活動
9	参加者決定(9月下旬)				チームビブス完成 城南カントリーシニアゴルフ
10		10/6(土)~7(日)イベント実施	2) 幹部研修(邑南町) 10/12~ 1泊または2泊		
11	11/10(土)イベント実施				
12	今年度の反省および来年度計画の作成へ				
1			火の君商品開発塾の創設へ		
2					
3					

● TEAM城南ワンダホー

- ・ 毎月第4木曜日19時半から定例会を開催。今後、塚原古墳での宿泊体験や婚活イベントを開催予定。

- ・ 既存の地域団体の枠を超えて、地域住民の有志が集まり、地域の活性化を実践している事例。



婚活イベント



定例会の様子



火の君商品開発塾（山都町を呼んでの研修）

● オレンジカクテルナイト in Yoshino

- ・ 東海大学と芳野地区住民の連携により、地域の活性化・魅力発信を目的としH27から毎年開催。
- ・ 特産品であるミカンのオリジナルカクテルを夕日を見ながら飲むメインイベントのほか、宝探しウォークやみかん狩り体験など、複数の企画を織り交ぜた複合的なイベント。

VOL.3 オレンジカクテルナイト IN YOSHINO

平成 29 年

10月21日(土)

9:00~20:00
※受付時間 8:45~
雨天の場合 10月22日(日)変更

参加者募集中!

開催場所 熊本市西区・野出峠の茶屋公園

参加費 1人1000円

対象年齢 20 歳以上

予定人数 先着 40 名

オレンジカクテルナイト 2017 とは・・・
熊本市西区芳野地区で一昨年から過疎化・高齢化という課題解決のため学生が地域の皆さんと協力してイベントを企画・実施しています。
3回目となる今年は宝探しウォーク、ミカン狩りそしてオレンジ色の夕陽をオリジナルカクテルと共に楽しむ地域の魅力満載のプログラムです。

主催: 芳野校区振興協議会 / 東海大学エコツーリズム研究室 協力: 芳野地区の皆さん

● オレンジカクテルナイト in Yoshino



学生・住民などの懇親会 1



学生・住民などの懇親会 2



オリジナルカクテル



宝探しウォーク



芳野地区から見える夕日

● オレンジカクテルナイト in Yoshino

- ・当初は学生の企画、運営が中心だったが、地元の若手農家や婦人会など、少しずつ地域を巻き込んだイベントに深化。
- ・ 大学と地域の連携により、対外的な地域の魅力発信だけでなく、住民同士の連携意識の醸成にも繋がっている事例。

H27	H28	H29
◆オレンジカクテルナイトの試飲 ◆みかん入りオリジナルドライカレーの試食 ◆地域住民、大学生、一般参加者の懇親会	◆オレンジカクテルナイトの試飲 ◆みかん入りオリジナルドライカレーの試食 ◆地域住民、大学生、一般参加者の懇親会 ◆野出公民館中心の4コースの宝探しウォーク ◆参加者と若手農家によるみかんちぎり体験	◆オレンジカクテルナイトの試飲 ◆みかん入りオリジナルドライカレーの試食 ◆地域住民、大学生、一般参加者の懇親会 ◆野出公民館中心の4コースの宝探しウォーク ◆参加者と若手農家によるみかんちぎり体験 ◆婚活イベントプレテスト

● 湖東中学校地区生徒会の取組み

- ・生徒が各町内会に割り当てられて、町内会長などと「自分たちができる町内活動」や「町内を良くする方法」などを話し合う。今年度は「土曜授業」を活用。（約25年継続）
- ・ある町内では、「自分達の町内でも夏祭りを開きたい」との提案から実際に開催が実現。また、健軍校区町内対抗運動会への多くの生徒の参加や夏祭りスタッフとして運営にも携わっている。



顔合わせの様子



生徒と町内の話し合い

● 湖東中学校地区生徒会の取組み

・各町内の予算には、毎年「地区生徒会」の予算が予め組み込まれている。

・地域との繋がりが希薄になりがちな中学生が「地区生徒会」の取組みを通じて、地域活動を理解するきっかけとなっている事例。

73,582	627,000 625,000	-53,418	町内体協 180,000 子供会 A 52,000. 子供会 B 43,000 地区生徒会 56,000 壮健クラブ 200,000 いきいきサロン 30,000 民生児童委員 50,000 灯路提灯製作費 10,000 グラウンドゴルフ 4,000
53,000	410,000	-157,000	餅つき大会 70,000 運動会 0
100,000	100,000	0	運営委員の通信費補助(一人5,000円)
180,000	180,000	0	校区団体へ活動助成金
60,000	60,000	0	隣保組長宅へ公文書及び町内回覧用配布
943,000	853,000	90,000	
55,000	55,000	0	ゴミステーション掃除用具代・違反ごみ袋代・管理者手
200,000	300,000	△ 100,000	町内活動用・赤い羽根募金・緑の羽根募金 ・共同募金

● 帯山 6 町内ホームページ

・地域の情報を住民に発信するため、専用ホームページを独自に作成。

・2009年に開設され、累計45,000アクセスを記録。

・子ども会や老人会、自治会などの各団体ごと専用ページがあるなど、情報の量や種類が豊富。

ホームページ 歴史 自治会 防災 子供会 婦人会 長寿会 くらし ひろば 回覧板 自治会便り パンポ 会長特急便

くまもとし
お
びやま
6 町内

ようこそ私たち

今年の夏も、もうひと辛抱ですね

熊本の夏の代名詞、「おてもやん総踊り」も終わってからの8月のご挨拶になってしまい、本当に申し訳ございません。勝手にいまして自分だけ猛暑に耐え切れないと判断し、逃避していました。おかげさまで何とか酷暑の山を過ぎたようですので、また町内のニュースを追いかけていきたいと思います。

早速ですが、町内関係の行事の予定が目白押しです。8月24日(金)は、子供会のお友達が毎年楽しみにしている「地蔵祭り」。これが終わらないと夏休みが終わりません。みんなで手作りのかわいいお神輿が町内を巡ります。是非沿道で応援してください。回覧板ページにてご案内しています。公民館では夏休み中に作成した絵と書道の作品も展示されています。

9月は敬老の月、敬老会の準備も進んでいます。今年後半も町内の新しい動きが活発化しそうで、楽しみです。

6町内公民館使用状況

お役立ち情報
熊本市のホームページ

- 休日在宅当番医
- ゴミ出し情報
- イベントカレンダー
- 市役所より、生活便利ブック
- 申請書ダウンロード
- よろず申請本編-電子申請
- 子供部屋
- バス時刻表
- よやくまぐん-体育施設予約
- 市民の声
- 熊本市駐輪場map

気になるサイト

生活知恵袋

YouTubeで動画を

Topics 新着情報

new 30/08/29 婦人会便り9月(婦人会)

new 30/08/25 地蔵祭り(会長特急便)

new 30/08/25 地蔵祭り(子供会)

30/08/15 アートパフォーマンス(ひろば)

30/08/12 回覧板8月(回覧板)

30/07/07 婦人会便り7月(婦人会)

30/07/07 公民館便りの日本民謡(会長特急便)

30/07/05 回覧板7月(回覧板)

30/06/24 玄關のバリアフリー(会長特急便)

30/06/22 子供会(婦人会)

30/06/17 わが町の二長寿さん(長寿)

30/06/16 ニハスデーションの音楽(くらし)

30/06/12 ニハスデーションの音楽(会長特急便)

30/06/10 5丁目公園のトイレの絵(会長特急便)

30/06/04 ニハスデーションの絵(会長特急便)

掲示板

こちらからどうぞ

スレッドに直接の方は

- 探しています(8)
- 読ってください(1)
- 敬愛会(2)

● 帯山 6 町内ホームページ

・ごみステーションの管理などの住民生活に関することや、各種イベントの開催レポートなど、頻繁に情報を更新。



Topics

新着情報



new
new
new
new

30/08/29 婦人会便り9月(婦人会)
30/08/25 地藏祭り(会長特急便)
30/08/25 地藏祭り(子供会)
30/08/15 アートパフォーマンス(ひろば)
30/08/12 回覧板8月(回覧板)
30/07/07 婦人会便り7月(婦人会)
30/07/07 公民館広場の樹木伐採(会長特急便)
30/07/05 回覧板7月(回覧板)
30/06/24 玄関のバリアフリー(会長特急便)
30/06/22 学習会(婦人会)
30/06/17 わが町のご長寿さん(ご長寿)
30/06/16 ごみステーションの管理(くらし)
30/06/12 たばこポイ捨ての話(会長特急便)
30/06/10 5丁目公園のトイレの話(会長特急便)
30/06/04 ごみステーションの話(会長特急便)
30/06/03 公民館使用状況
30/06/03 婦人会便り(婦人会)
30/06/02 自治会だより(57号)
30/06/02 回覧板6月(回覧板)
30/05/29 わが町のご長寿さん(ご長寿)
30/05/16 長寿会総会(長寿会)
30/05/13 新一年生の歓迎会(子供会)
30/05/12 ごみステーションの看板取り替え(自治会)
30/05/03 回覧板5月(回覧板)



自治会委員のところに地帯住民の方々からいろいろな相談や要望が届きます。

ミラーの設置、防犯灯の設置、ごみステーションの囲いと、道路の補修、植木や公園内でのトラブル、不審者情報、危険箇所、等々。それらの情報を基に、自治会で検討し解決して行っています。

町内巡回で見聞したことや、住民の方からのお声など、自治会の動きをいち早く皆さんへお届けします。

過去記事	
30/07/07	公民館広場の樹木について
30/06/24	
30/06/12	たばこポイ捨ての話
30/06/09	5丁目公園のトイレの話
30/06/04	ごみステーションの話
早ちゃんの散歩道記事	
25年05月	
25年06月	
25年07月	
25年08月	
25年09月	

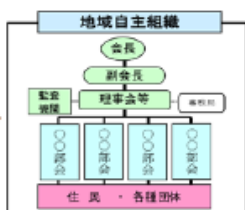
● 移住定住の促進（宅地の無償提供）

- ・ 芳野校区の人口減少を危惧し、地域住民によって「NPO 法人芳野校区まちづくり」を設立（2015年）
- ・ 「政令指定都市に過疎化は似合わない！」をテーマに約50名のメンバーで活動し、「宅地の無償提供」という移住促進策を考案。
- ・ 校区外に移り住んだ芳野小・中学校の卒業生らに手紙を送って募金を集めるなどして、2箇所、計26区画の宅地を整備。
- ・ 昨年から、定住者の募集を行っている。



無料提供の宅地

事例の紹介（他都市）

事例名称		地域自主組織による住民主体のまちづくり		政策分野	1. 地方における安定した雇用の創出 2. 地方への新しい人の流れをつくる 3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望実現 4. 時代に合った地域、安心な暮らし、地域と地域の連携												
取組地域		うんなんし 島根県雲南市															
全体概要		○集落機能を補完する新たな自治組織である「地域自主組織」が、各地域において住民発意で発足。 ○現在市内全域で30組織が活動。		活用した政府の支援	➢ 総合特別区域制度(内閣府) ➢ 過疎対策事業債(総務省)												
特徴的取組・成果		○地域自主組織の発足 - 雲南市では、平成16年11月に6町村が合併し、雲南市が誕生。合併を契機として、協働のまちづくりが本格化。 - 平成16年の新市建設計画において、集落機能を補完する新たな自治組織として地域自主組織が位置づけられた。 - 概ね小学校区ごとの各地域で住民発意による地域自主組織が順次発足し、雲南市内全域で30組織が活動。 ○地域自主組織の特徴 1組織あたりの人口規模は200人弱～6000人(平均1350人)。世帯数は平均440世帯。 - 自らの地域は自ら治める。 - 自治会や消防団、PTAなど地域のあらゆる団体が集結し住民自治のプラットフォームを形成し、地域の総合力で課題解決に住民自らが取り組む。 - 地域の盛り上げのため祭り実施などが主のイベント型から地域の課題解決のために住民自らが考え行動する課題解決型へ。 - 地域力(個性)を活かす ○チャレンジの連鎖によるまちづくり - 地域自主組織の取組を「大人チャレンジ」、後継者となる若者の取組を「若者チャレンジ」、若者の後継者づくりを「子どもチャレンジ」とし、チャレンジの連鎖でひとが育ち、仕事が生まれ、持続可能なまちづくりに取り組むことで、郷土への誇り・愛着を醸成。															
取組の工夫等	推進体制面	○雲南市による支援 - 市は地域自主組織を対等なパートナーとして位置づけ、積極的に支援。 - 地域住民で地域課題に取り組むための一括交付金による財政支援。 - 地域づくり担当者を配置し、人的支援を実施。 - 地域と市が「直接的・横断的」に「分野別」で協議を行う地域円卓会議の開催や地域同士の取組発表会を開催し、情報交換の場を創出。		イメージアップ資料(写真・図表等) ○地域自主組織のイメージ 概ね(小)学校区域であらゆる団体が結集  地域の総力を結集し、地域課題を自ら解決!  地域の経営体(住民自治のプラットフォーム) ○チャレンジの連鎖による持続可能なまちづくり  <table><tr><td>子どもチャレンジ</td><td>若者チャレンジ</td><td>大人チャレンジ</td></tr><tr><td>ひとづくり</td><td>しごとづくり</td><td>まちづくり</td></tr><tr><td>保・幼・小・中・高</td><td>大学・若者</td><td>地域自主組織</td></tr><tr><td>○ 中学3年生を対象とする1泊2日の宿泊セミナー ○ 市内7項合同実施による職場体験</td><td>○ 若者と大学生が丸となり、まちづくりの次を担っていく高校生を育てる「うんなん若者会議」の開催</td><td>○ 交流センターを活動拠点とし、地域づくり・地域福祉・生涯学習の分野を中心に活動を展開</td></tr></table>		子どもチャレンジ	若者チャレンジ	大人チャレンジ	ひとづくり	しごとづくり	まちづくり	保・幼・小・中・高	大学・若者	地域自主組織	○ 中学3年生を対象とする1泊2日の宿泊セミナー ○ 市内7項合同実施による職場体験	○ 若者と大学生が丸となり、まちづくりの次を担っていく高校生を育てる「うんなん若者会議」の開催	○ 交流センターを活動拠点とし、地域づくり・地域福祉・生涯学習の分野を中心に活動を展開
子どもチャレンジ	若者チャレンジ	大人チャレンジ															
ひとづくり	しごとづくり	まちづくり															
保・幼・小・中・高	大学・若者	地域自主組織															
○ 中学3年生を対象とする1泊2日の宿泊セミナー ○ 市内7項合同実施による職場体験	○ 若者と大学生が丸となり、まちづくりの次を担っていく高校生を育てる「うんなん若者会議」の開催	○ 交流センターを活動拠点とし、地域づくり・地域福祉・生涯学習の分野を中心に活動を展開															
参考となるポイント・示唆		○自治会や消防団、PTAなど地域のあらゆる団体が結集し住民自治のプラットフォームを形成し、地域課題の解決に住民自らが取り組む。 ○子どもから大人まで各世代のチャレンジの連鎖による持続可能なまちづくりと郷土への誇り・愛着の醸成。															

事例名称	集落の暮らしを守る 大宮産業		政策分野	1 地方における安定した雇用の創出 2 地方への新しい人の流れをつくる 3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望実現 4 時代に合った地域、安心な暮らし、地域と地域の連携	
取組地域	しまんとし にしとさおおみやちく 高知県四万十市西土佐大宮地区				
全体概要	○暮らしを守るために住民が株式会社を設立して売店やGSを購入・運営。 ○住民がつくった会社として、住民ニーズの汲み取る取組に努め、売上げの大幅増、黒字化を達成。 ○H25から人口が下げ止まり。移住者や子どもの増加で高齢者の減少を補う。		活用した政府の支援	—	
特徴的取組・成果	○住民出資型の株式会社の設立 - 大宮地区は3集落で構成、昭和50年から人口減少・高齢化が進み、JAの撤退に伴い、地域の生活を守るため給油所と日用品の店舗の継続に向け、約8割の世帯が出資し、平成18年5月に設立（出資金700万円、株主108名）。 - 地域の課題解決のための取組を実施する地域運営組織として活動。 ○地域に貢献する取組の推進 - 住民の生活を守るライフラインを維持（生活必需品の販売、給油所の運営）、住民の声を受け、今後葬儀事業を予定。 - 地域住民コミュニティづくり（高齢者の見守りを兼ねた宅配サービス、土曜夜市など地域の内外の交流イベントの開催）を実施。 - 外貨の獲得のため、地域資源の活用として、大宮米を市内外（学校・病院・通信販売等）へ販路拡大。 - これらの取組により、売上の増加（H25：約6000万円、H18開始時の1.7倍）により黒字を達成。人口は平成25年に下げ止まり、高齢者が毎年10名程度減少するのを移住者や子どもの誕生で補い、人口を維持。小中学生が増加し、集落に活気。			イメージアップ資料（写真・図表等）	
取組の工夫等 推進体制面	○アドバイザー会議により住民の声を経営に反映 - 各世代の代表からなるアドバイザー会議を設置し、要望や意見を受けて新たな活動や品揃えを工夫するなど、住民の対話を重視ながら運営。 ○地域ぐるみの活動のため、新たに大宮集落活動センターを立ち上げ - 地域の住民や団体・組織を会員とし、地域全体での取組体制を構築。大宮産業等の団体と連携しつつ、移住交流活動や農産物の生産・販売の促進、加工品開発・環境美化等各種の活動を地域全体で実施。		 店舗・給油所の外観  店舗内の様子  給油所の様子  交流イベントの開催  アドバイザー会議の様子 アドバイザー会議の構成 - 各地域の代表者 40～80歳代まで - 各年齢層 男女		
	参考となるポイント・示唆		○地域の生活を守るため、約8割の世帯が出資し法人を設立。 ○生活必需品の販売や給油所の運営等、地域が必要とする事業を多角的に実施。 ○各世代の代表からなるアドバイザー会議を設置し、住民との対話により各年齢層のニーズを反映した運営。		

事例名称		鹿屋市 柳谷町内会(通称:「やねだん」)		政策分野	1. 地方における安定した雇用の創出 2. 地方への新しい人の流れをつくる 3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望実現 4. 時代に合った地域、安心な暮らし、地域と地域の連携																			
取組地域		かのやし くしらちょう やなぎだにしゅうらく 鹿児島県鹿屋市串良町 柳谷集落																						
全体概要		○行政に頼らない「むら」興しをキーワードに、住民自治、自主財源確保、還元活動を平成10年から17年継続して実施 ○地域活動には「感動と感謝」、「笑顔とフルネーム」と「笑顔と会話」		活用した政府の支援	—																			
特徴的取組・成果		○自主財源でボーナス支給 ・自主財源確保に、土着菌や手作り加工品等の製造販売を行う。「焼酎やねだん」の製造販売では韓国まで輸出。自主財源の余剰金で85歳以上にボーナスを毎年支給。平成27年度には年間840万円の収入を確保 ○迎賓館を企画 ・古民家を迎賓館にしたり、10年前からアーティストの移住受入を行う。 ・「文化向上」と「子ども」をキーワードに集落が明るくなり、Uターンが始まる。 <u>30人増加(未就学児11人増)</u> ○「やねだん故郷創世塾」 ・地域リーダー養成のために、平成19年に「やねだん故郷創世塾」開講。20回までの卒業生は838人 ○めったに見られない芸術 ・毎年5月の連休に約1週間、7人の芸術家の個展を中心に開催。9回終了し、約3千人来訪		イメージアップ資料 (写真・図表等)																				
				やねだん焼酎の売上げ <table><tr><td>27年</td><td>840万円</td></tr><tr><td>26年</td><td>740万円</td></tr><tr><td>25年</td><td>900万円</td></tr><tr><td>24年</td><td>1200万円</td></tr><tr><td>23年</td><td>2230万円</td></tr><tr><td>22年</td><td>1560万円</td></tr><tr><td>21年</td><td>810万円</td></tr><tr><td>20年</td><td>790万円</td></tr><tr><td>19年</td><td>600万円</td></tr><tr><td>18年</td><td>890万円</td></tr><tr><td>17年</td><td>830万円</td></tr></table>  <焼酎「やねだん」>  <やねだん故郷創世塾>			27年	840万円	26年	740万円	25年	900万円	24年	1200万円	23年	2230万円	22年	1560万円	21年	810万円	20年	790万円	19年	600万円
27年	840万円																							
26年	740万円																							
25年	900万円																							
24年	1200万円																							
23年	2230万円																							
22年	1560万円																							
21年	810万円																							
20年	790万円																							
19年	600万円																							
18年	890万円																							
17年	830万円																							
取組の工夫等	推進体制面	○自治公民館長をリーダーとする地域再生の取組 ➢ 行政に頼らない地域再生を目指し、公民館長自らアイデアを出し、「からいも生産活動」、土着菌の製造販売、焼酎「やねだん」の製造販売等で自主財源を確保。 ➢ 自治公民館組織を再編、さらに住民参加型「柳谷集落民会議」組織を通じて「むらづくり」活動の拠点とする。		【やねだん 主な受賞歴】 平成17年 MBC賞 平成18年 県民表彰、南日本文化賞 平成19年 総務大臣賞、内閣総理大臣賞 平成24年 法政大学イノベティブ・ポリシー賞 など																				
	その他	○感動によるまちづくり ➢ 母の日などに遠方で暮らす子供たちから感謝の気持ちを手紙で送ってもらい、地元の高校生が読む。 →地域愛と人の和を育むことで、地域活動への自主的な参加が継続																						
参考となるポイント・示唆		○住民が主体となり自ら稼ぐ地域づくりに成功した事例																						

事例名称	田んぼアート	政策分野	1. 地方における安定した雇用の創出 2. 地方への新しい人の流れをつくる 3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望実現 4. 時代に合った地域、安心な暮らし、地域と地域の連携
取組地域	いなかだてむら 青森県田舎館村	活用した政府の支援	➢ 地方創生加速化交付金(内閣府) ➢ 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業 ～地(知)の拠点COC+～ (文部科学省)
全体概要	○田んぼをキャンバスとして、色の異なる稲を用いて巨大な絵を描き、観光振興を図る	イメージアップ資料(写真・図表等)	＜平成28年度 真田丸とシンゴジラ＞  ©2016 TOHO CO.,LTD.
特徴的取組・成果	○県内でも有数の稲作が盛んな地域である田舎館村において、平成5年に村おこし事業としてスタート。県の奨励品種である「つがるロマン」をベースとして、7色12種の稲で緻密なアートを作り上げている。 ・現在では、全国各地へ広がりを見せており、全国田んぼアートサミットが開催されるまでになっている ○芸術性の高さから話題となり、全国から年間30万人以上の集客を実現。 ○平成27年度:観覧者数34万人、展望料収入6,200万円。 平成28年度は展望料収入が9,300万円に上った。	地(知)の拠点 共育型地域インターンシップ in 田舎館	事業目的 地域で育つ、地域が育つ。 大学生が田舎館村の住民と連携して、地域の活性化に向けた提案を行う。 大学生 地域住民 地域を学び、地域住民と活動 主体的な活動を促進 実施体制  地域団体・地域住民と協働「田んぼ芸術家を育てる」など 平成28年度の取組(弘前大学生3名が参加) 田んぼアートの「田植え」 地域と共に「考える」  田んぼアートの田植えを通じて地域住民と交流。 田舎館村職員や他大学の学生と共に地域の課題や活性化について学習。 「お米ツアー」の企画 「田舎館村の魅力」を発信  「お米」をテーマとして、地元の食材、暮らしを楽しむ観光ツアーを企画。 田舎館村観光プランで「まちづくりコンテスト」に出場し、賞を獲得。
取組の工夫等	○単に観るだけではなく、稲刈り体験ツアー等を実施し、農業に触れる機会を提供 ○地元大学と連携して地域活性化に取り組む観点から、大学生が田んぼアートの田植えなどに参加。		
参考となるポイント・示唆	○村民を中心に、ツアー参加者や大学生等、を巻き込んで取組を実施 ○「全国田んぼアートサミット」や冬季における「冬の田んぼアート」など、事業に広がりが見られる		

事例名称		NPO法人えがおつなげて—都市農村交流		政策分野	1. 地方における安定した雇用の創出 2. 地方への新しい人の流れをつくる 3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望実現 4. 時代に合った地域、安心な暮らし、地域と地域の連携
取組地域		山梨県北杜市			
全体概要		○高齢化率60%(全国平均26.7%)を超え、耕作放棄率も50%以上という集落において、都会の若者、外国人を巻き込んで耕作放棄地を再生 ○地元企業・東京の企業を巻き込んで様々なプロジェクトを実施		活用した政府の支援	都市農村共生・対流総合対策交付金(農林水産省)
特徴的取組・成果		○都市農村交流を10年以上継続、都市部から延べ50,000人以上参加、耕作放棄地5ha以上復活 ・活動を通して100人以上が移住 ○大手不動産会社との連携 ・再生した農場で酒米を作り、酒造り。そのお酒を丸の内の飲食店などで提供 ・都会のマンションの住民を対象にした農業体験ツアー ・山梨県産の間伐材を活用した建材を開発・利用するプロジェクト 等を実施 ○食品メーカー・マーケティング会社、地元企業等との連携 ・人材研修として農業体験 ・自社の企業農場で生産したものを原料とする新たな商品開発(大豆・ひまわり⇒油、枝豆⇒ずんだ餅 等) ○平成15年、構造改革特区(増富地域交流振興特区)認定 ・農地貸付方式による株式会社等の農業経営への参入の容認 ・国立、国定公園の特別区域におけるイベントの容易化		イメージアップ資料(写真・図表等)	
取組の工夫等	推進体制面	○都市の企業との深い連携 ➢単なる都市農村交流にとどまらず、企業のCSR活動、新たな商品開発につながる共同プロジェクトの実施		 	
	その他	○農村起業人材の育成 ➢受講生が活動したい地域に即した実践的な農村と都市をつなぐビジネスモデルを作り方を指導、農村起業家の育成を行う		 	
参考となるポイント・示唆		○大規模な耕作放棄地の解消に向け、都会や海外からの若者をボランティアとして集め成功した事例			

32

事例名称		センサーネットワークによる鳥獣被害対策		政策分野	1. 地方における安定した雇用の創出 2. 地方への新しい人の流れをつくる 3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望実現 4. 時代に合った地域、安心な暮らし、地域と地域の連携
取組地域		長野県塩尻市			
全体概要		○自治体と地元ICTベンダー、地域住民(地元農家や猟友会)が連携し、センサーネットワークによる鳥獣被害対策を実施。 ○自治体が推進母体となり、県内外への普及展開を推進。(平成24年度より実施)		活用した政府の支援	➢ 平成24～25年度 ICT街づくり推進事業(総務省)
特徴的取組・成果		○自治体、地元ICTベンダー、地域住民(地元農家や猟友会)の連携 ・ イノシシによる稲作被害の解決に向けて、自治体に加えて、地元大学や地元ICTベンダーによって構成される「ITアグリ研究会」が主体的に参画。当該研究会の参画により、地域住民との合意形成も円滑になり、自治体、地元ICTベンダー、地域住民(地元農家や猟友会)が一丸となって推進。 ○鳥獣被害が2年間でゼロに ・ 水田周辺に獣検知センサーや罠捕獲センサーを設置し、獣検知センサーが獣の侵入を検知すると、サイレン音やフラッシュ光で獣を追い払うとともに、地元農家や猟友会に地図付きのメールを配信し、迅速な追い払いや捕獲に寄与。罠捕獲センサーに獣が掛かった際にも、同様にメールを配信し、獣の迅速な処理に寄与。 ・ 85%が被害を受けていた実証事業の対象エリア(稲作面積約27ha)において、実証1年目で20%まで被害が減少し、2年目には被害がゼロとなり、休耕地が復活。			
取組の工夫等	推進体制面	○自治体が推進母体となり、県内外への普及展開を推進 ➢ 自治体が保有するクラウドシステムとして当該サービスを構築。 自治体が推進母体となり、周辺自治体をはじめ県内外への普及展開を推進。		イメージアップ資料(写真・図表等)	
	PDCAサイクル面	○現地ステークホルダーによるPDCAの実施 ➢ 自治体、地元ICTベンダー、地域住民等が効果検証や課題整理を行い、更なる改善のための方策を検討し、新バージョンでは写真をメール添付できるようにしている。			
参考となるポイント・示唆		○自治体や地元ベンダー、地域住民による連携			

【補足資料 1】

熊本市立地適正化計画について

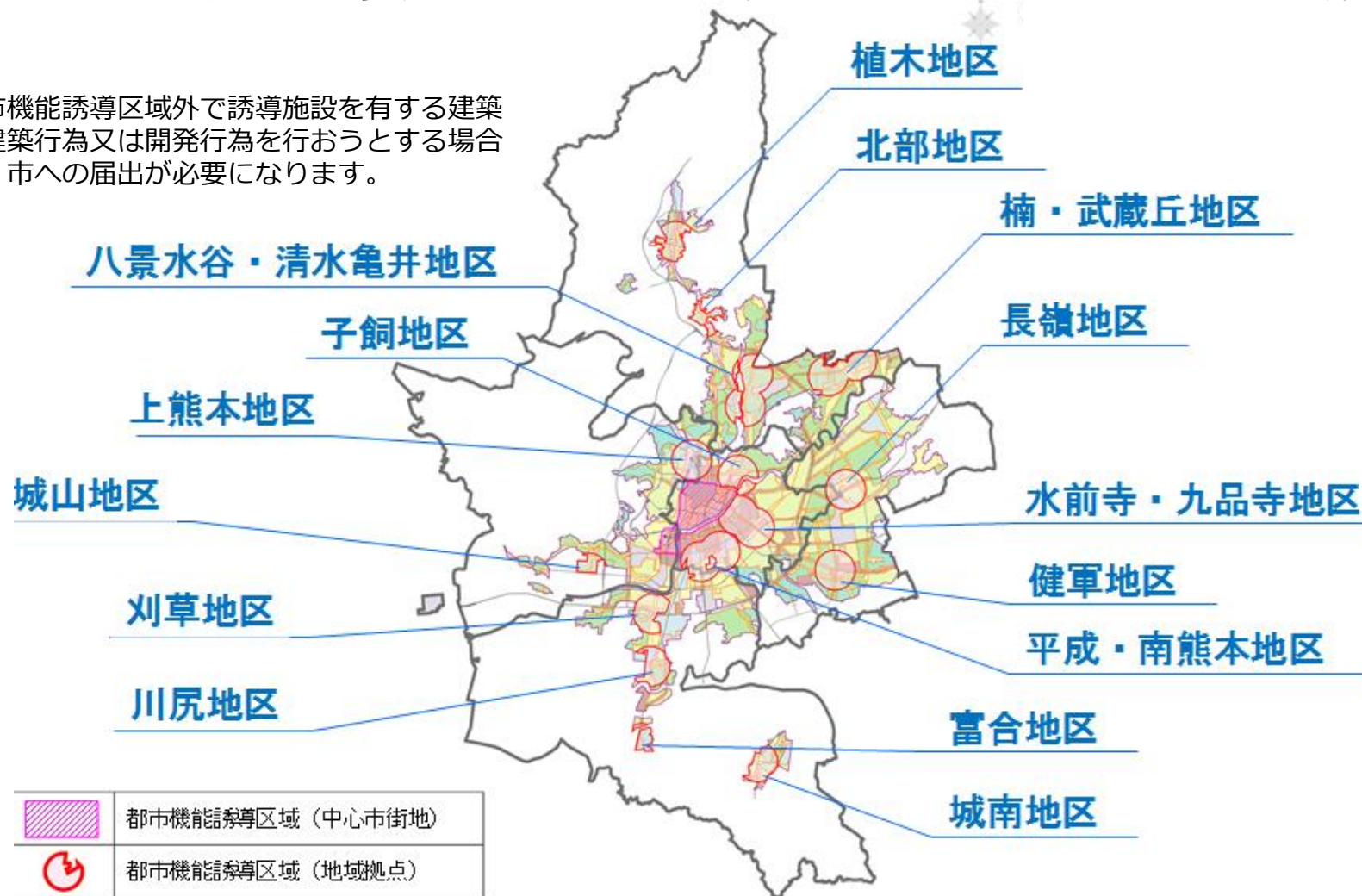
都市再生特別措置法 (H26. 8. 1施行) に基づく、居住や都市機能等に関する計画。**人口減少、超高齢社会に適応可能な都市づくりを進める**ために策定。

※平成30年8月 都市政策課 「熊本市における高く連携年づくり
～公共交通を機軸とした熊本が他のコンパクトなまちづくり～」より抜粋

「都市機能誘導区域」

商業・医療等の日常サービス機能を都市の拠点で維持・確保することにより、必要なサービスを受けることができる区域。

※都市機能誘導区域外で誘導施設を有する建築物の建築行為又は開発行為を行おうとする場合には、市への届出が必要になります。



・ 全ての都市機能誘導区域内に各機能1施設は維持・確保

・ 都市機能誘導区域には存在しないが、徒歩・自転車で移動可能な範囲の800m圏内に有する施設は補完施設

・ コンビニエンスストアは、800m圏内にあれば金融機能を補完する施設

都市機能誘導区域名	商業機能	金融機能	医療機能			
			内科	外科整形外科	小児科	歯科
植木地区	●	●	●	●	●	●
北部地区	◆	●	●	●	●	●
楠・武蔵ヶ丘地区	●	●	●	●	●	●
八景水谷・清水亀井地区	●	●	●	●	●	●
子飼地区	●	●	●	●	●	●
長嶺地区	●	●	●	●	●	●
水前寺・九品寺地区	●	●	●	●	●	●
健軍地区	●	●	●	●	●	●
平成・南熊本地区	●	●	●	●	●	●
刈草地区	●	●	●	◆	●	●
富合地区	◆	●	●	○	◆	○
城南地区	●	●	●	●	●	●
川尻地区	●	●	●	●	●	●
城山地区	●	●	●	○	○	●
上熊本地区	●	●	●	●	●	●

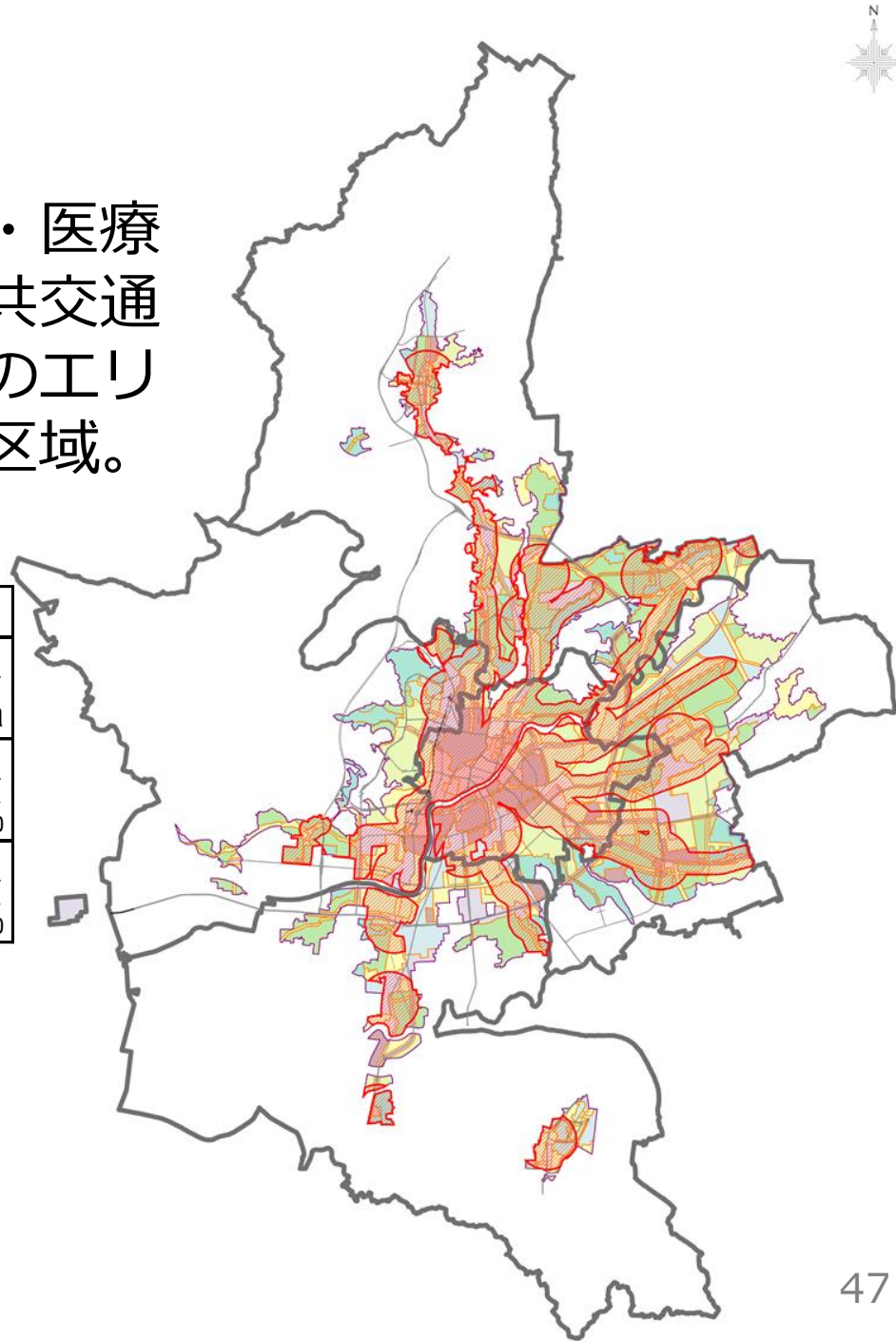
● 誘導施設（維持）
 ◆ 誘導施設（確保）
 ○ 補完施設

都市機能誘導区域名	高次都市機能	商業機能	金融機能	医療機能			
				内科	外科整形外科	小児科	歯科
中心市街地	●	●	●	●	●	●	●

「居住誘導区域」

人口減少下においても、商業・医療等の日常生活サービス機能や公共交通が持続的に維持されるよう一定のエリアにおいて人口密度を維持する区域。

	面積	人口
居住誘導区域 〔人口密度〕	5,904ha	358,767人 60.8人/ha
市街化区域面積と人口 (割合)	10,795ha 54.7%	644,441人 55.7%
市域面積と人口 (割合)	39,032ha 15.1%	734,474人 48.8%



※居住誘導区域外で一定規模以上の住宅の建築行為又は開発行為を行おうとする場合には、市への届出が必要になります。

【補足資料 2】

熊本市復興アドバイザー 中間報告

熊本地震から復旧・復興していくなかで、**震災前の熊本市に戻すだけでなく、新しい未来の地方都市くまもとの姿を創造するため**、有識者等から、長期的かつ大所高所からの意見を求めることを目的として平成28 年8 月に設置。

※平成30年8月 「熊本市復興アドバイザー 中間報告」より抜粋

上質な生活都市へのアプローチ

— 「熊本市は、何をしなければならないか？」

仲間づくりにもつながる 地域づくりの推進

熊本地震をコミュニティの再構築の機会として、市役所がプラットフォームを提供するなど、熊本型防災体制の構築と合わせて、自主自立の地域づくりを進めること。

74 万市民とともにつくる 市民自立型のまちづくり

市役所は、市民と情報を共有するだけでなく、「共鳴」することによって、市民一人ひとりのまちづくりへの参画を促し、市民自立型の自治体を目指すこと。

— 具体的な取組みの提案

安全・安心な暮らしに向けた社会の構築

- コミュニティビジネスの創出も含めた持続可能な地域コミュニティの再構築